

# 五ヶ丘まちづくりニュースレター



## 第13号



令和8年度 第3回五ヶ丘活性化🦋プロジェクト全体会を開催しました！

7月25日（土）、益富交流館で第3回五ヶ丘活性化🦋プロジェクト全体会を開催し、27名にご参加いただきました。今回は、3つのグループに分かれて各グループでの今後の取組について協議しました。



### ①あいさつ

五ヶ丘活性化🦋プロジェクト 寺崎会長



寺崎会長

五ヶ丘活性化🦋プロジェクトが発足し、今日からは3つのグループに分かれてまちづくりの取組を協議して、みなさんのアイデアを出し合ってもらいます。少しでも地域住民のみなさんの役に立つことができる取組を議論できればと思います。一人でできることは限られますが、仲間を増やしてみんなで考えると色んなことが実現できて、だんだん活動も楽しくなってくると思います。少しでも「五ヶ丘に住んでよかったな」と思えるまちにしていきたいでしょう！

第3回五ヶ丘活性化🦋プロジェクト全体会の様子が、8月8日（土）～14日（金）の間、ひまわりネットワーク「ひまわりニュース&トピックス」で紹介されました。

## ②まちづくりの取組・今後の進め方（グループワーク）

3つのグループ（つながり・にぎわい創出、まちづくりの場（施設）創出、仕組みづくり）に分かれて、各メンバーが考える今後の取組テーマについて①理想、②課題、③課題に対する解決策について共有しました。その後、各グループで今後取り組むテーマを選定しました。



【つながり・にぎわい創出グループ】 【まちづくりの場（施設）創出グループ】 【仕組みづくりグループ】

## ●各グループの協議結果発表

### 【つながり・にぎわい創出グループ】

- ・主な取組テーマとしては、公共交通機関を活用した高齢者向けの観光ツアー、自治区や校区対抗によるゴミ拾い大会、ラジオ体操などが挙げられました。
- ・上記の取組を進めるうえで、特に子ども世代への情報発信が重要だという意見が出ました。今後、学校でのポスター掲示や夏祭りでのアンケートを通じてPRを行います。
- ・各事業や情報発信について優先順位を整理しながら検討を進め、次回の全体会では夏祭りアンケートの結果を報告します。

### 【まちづくりの場（施設）創出グループ】

- ・以下の3つのテーマごとに小グループを編成して検討していくことになりました。
  - ①若い世代への意向調査  
→夏祭りでアンケートを実施して「五ヶ丘に何があったら住みたいと思うか」を調査します。
  - ②アンケート手法の検討  
→二次元バーコードを用いたネット集計の活用や景品による回答の促進について検討します。
  - ③市所有施設の跡地活用案検討  
→運動広場、浄化センター等について活用案を検討します。
- ・次回全体会では、アンケート結果や跡地活用案を報告します。

### 【仕組みづくりグループ】

- ・主なテーマ（なりたい姿）は「多世代を支え合える五ヶ丘」、「平等に情報を得られる仕組みづくり」になりました。
- ・主なアイデアとしては、子どもの見守りサポート、自然教室、五ヶ丘の歩みを伝える授業、人材バンクの構築、名鉄高速バスの復活、習い事情報の共有、小学生登校時のサポーターなどを通じた学校と地域の交流・連携などが挙げられました。
- ・今後は、地域の意見を把握するためアンケートを実施するとともに、次回全体会までにグループで再度打合せを行い、具体案の優先順位やアンケート内容、次回全体会での報告内容を整理します。

第4回全体会は8月22日（土）14時から益富交流館1階大会議室で開催します。五ヶ丘活性化プロジェクトにご興味のある方又は一緒に活動していただける方は下記連絡先へご連絡ください。 ※これまでの取組については市HPでご覧いただけます。



【発行】五ヶ丘自治区連合会、五ヶ丘活性化プロジェクト、  
豊田市（高橋支所 地域振興担当） 令和8年8月

【連絡先】電話：80-0077、メールアドレス：takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp

